



国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリークラブ
2015～2016年度

会報



恐れず改革、フレッシュな25周年クラブを！

2016. 05. 18 第1192回例会 No. 26-40 2016. 05. 25発行

◎司会 中谷 絃子 SAA・親睦委員

◎点鐘 宮本 誠 会長

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菊池 敏 会員

◎お客様紹介 宮本 誠 会長

例会体験 コンティニューム(株)
コンティ多摩センター代表取締役 山本マーク豪さん
卓話講師 コミュニティネットワーク協会広報室長 渥美京子さん
司法修習生 下山田 聖さん

◎会務報告 宮本 誠 会長
特になし

◎幹事報告 入沢 修自 幹事

<配布> プログラム、会報、奉仕PJ提案シート回収
結果、本日の卓話資料

<回覧> ハイライトよねやま 194、東京多摩 RC・東京多摩
せいせきロータリー衛星クラブ 例会変更、東京調布
むらさき RC25周年記念誌、ふくしだより 5月号、
来週の座禅夜例会出欠表

*他クラブ 例会変更は事務局にお問合せ下さい

◎次年度会務報告 小泉 博 会長エレクト

・奉仕PJ企画会議のまとめを配布しました。この提案書
に基づき5/11に開催いたしました、第5回(臨時)被
選理事会において、次年度の奉仕PJを採択決定いた
しました。障がい者テニススクールの開催・ラオス小
児病院支援の2案です。

・第6回被選理事会開催のご案内
本日例会後事務局にて開催いたします。

【 諸事報告 】

◎各委員会・他

☆奉仕プロジェクト【ラオス小児病院支援】

関岡 俊二 実施委員長

ラオスの支援についての中間報告として、4/27 例会時
に宮本会長より予算案が通ったとの報告があった通り、



支援費用 合計 249,500 円を
承認して頂きました。
内訳としては、テルモ製の注
射器、医療用品(ガーゼ、テ
ープ、バンドエイド、ハブラ
シ他)、文房具など
赤尾さんとよく相談しながら
年度内にお渡しするようにし

ていきます。今後も絶大なる支援をよろしくお願い致します。

☆ “ Who am I ”



森本由美会報・記録 委員長



本年度の特別企画の最終
回です。ご本人がいません

が・・・澄川会員でした！

三田会員、田崎会員の2名が正解でしたのでジャンケン
の結果、三田会員に賞品を！

☆座禅移動夜例会について

伊澤ケイ子 SAA・親睦 副委員長

次回の例会の5/25座禅会があります。

集合 17:20、座禅開始 17:30

例会開始は 18:00 です

皆様、都合をつけてぜひご出席
ください。



◎出席報告

田崎博実 出席奨励委員長

会員総数	31名
出席義務免除者	7名
出席者数	出席義務者 17名
	出席免除者 6名

計 23名
出席率 23/30 = 76.67%

◎ニコニコBOX 峯岸 忠 SAA・親睦委員

- 宮本 誠 今日の会報のWho am Iは最高に面白いですね。澄川さんの昔の勇姿、変り果てた今の姿からは想像もできません！
- 入沢 修自 今日は乞田あたりから程よく歩いて来ました。
- 足立潤三郎 お久しぶりです 先週は失礼しました。
- 遠藤 二郎 お客様ようこそ。
- 萩生田政由 渥美京子様卓話楽しみにしています。
- 伊澤ケイ子 山本さまようこそ。ご入会お待ちしております。
- 菊池 敏 今日は暑くなりましたので！
- 三田みよ子 吉沢先生いつもありがとうございます。
- 宮村 宏 渥美様これからの為になる話ありがとうございます。
- 森本 由美 渥美さま、マーク山本さまようこそ。
- 中谷 綾子 山本さまようこそ。
- 斉藤 誠壽 渥美様卓話宜しくお願ひ致します。
- 関岡 俊二 お客様ようこそ。
- 田村 豊 山本さんようこそ。渥美さん卓話宜しくお願ひします。
- 田崎 博実 今日は暑いのでノーネクタイです。
- 津守 弘範 昨日皇居にて藍綬褒章をいただきました。
- 初野 有人 我が息子(小5)が調布少年野球連盟で野球をしています。今週日曜日 夏季都大会調布予選決勝戦です。
- 峯岸 忠 お客様ようこそ卓話よろしく 大変暑くなりました お体いたわりましょう。

本日の合計¥21,000 (累計¥867,904)

◎卓話

卓話者紹介 田村 豊 プログラム委員長
出版社でお仕事をされた後、フリーでライターされていました。現在、コミュニティネットワーク協会でご活躍されています。
実は・・・健康甲子園のネーミングをされた方です！

◎「高齢化と支え合いのコミュニティづくり」

コミュニティネットワーク協会 渥美 京子さん
阪神淡路大震災のときに医師が中心となった支援活動が発足の母体です。



その時に色々なニーズ調査をしました。家が壊れてもどうい状態でも家に帰りたい、或いは、住み慣れた所で暮らしたい、という声が非常に強かったのです。それを実現す

るために社団法人としての活動をはじめまして、実際にコミュニティをつくるのがとても大事だ、支え合いのコミュニティを作りましょうというのが最初のスタートでした。

現在は、高齢者住宅と街づくりの企画開発マーケティングなどを行っています。

高齢者のニーズをつかむと、多くの方の本音は高齢者住宅には入りたくない、自宅で暮らしたいということです。それでも高齢者住宅を探す方の思いは、子に迷惑をかけたくない、介護の負担をさせたくないが、独居老老暮らしなどで毎日が不安。元気なうちに終の棲家決めたい、そして高齢者だけでは暮らしたくない、こども・若者・高齢者が自然に交わる多世代共生の環境で暮らしたいというニーズだと受け止めております。～大切なこと～

- 1) 元気なときに、自分の意思で入居～新たな「第3の人生」の構築。
- 2) 居住福祉の観点から、「住まい」に必要な広さと機能の完備。
- 3) 最期までの安心のしくみ。
- 4) 参加型によるコミュニティの構築+余計なサービスをしない
- 5) ケアと住まいを分ける。
⇒認知症にならない
寝たきりにならない

その実現を目指すのが「ゆいまーるシリーズ」。
※沖縄のことばで「ゆい」＝むすぶ 「まーる」＝まわるが訛って 順番という意味。助け合いということだそうです。

事業によってもたらす効果は、特養を作らず待機者を減らすことで、特別養護老人ホームに入らずとも地域で支え合っているような住いケアを作っていく。年金が下がっていく中で低価格の住まいと同時に、雇用の創出の効果を目指しています。

*卓話後の質問にもたくさん答えて頂きましてありがとうございました。



◎お礼と閉会点鐘

宮本 誠 会長

渥美さんのお話を伺って、今ある制度をどのように利用して、もっと発展させていくかというような活動が大変大事なのだなという気がしました。制約があったりしてうまくいかないことも多いのですが、世の中が変わっていく原動力になるのかなと思いを聞いていました。

(今週の担当 小泉 博)